

行政視察等報告書

安来市議会議長 様

報告者 会派 公明党
佐々木厚子

この度、行政視察を行いましたので報告します。

記

期日	平成29年3月28日（火）
行先	岡山県総社市 岡山県高梁市
日程	別紙のとおり
参加者	佐々木厚子
同行者	上廻芳和、金山満輝、梅林守、遠藤孝、井上峯雄、 石倉刻夷、作野幸憲
視察内容	別紙のとおり

行政視察等報告

(会派 公明党)

<視察目的>

・岡山県総社市

現在安来市では史跡富田城整備事業が進められているが、入り込み客数の見通しや目標人数が設定されておらず、今後の大きな課題となっている。そこで国指定史跡「鬼ノ城」の管理状況について調査・研究し、参考にするため。

・岡山県高梁市

総社市と同じ理由により、重要文化財「備中松山城」の管理状況について調査・研究し、参考にするため。

<視察概要一覧>

視察月日	視察・研修先	視察施設	視察内容
平成 29 年 3 月 28 日 (火)	岡山県総社市	国指定史跡「鬼ノ城」周辺	国指定史跡「鬼ノ城」の管理状況について
平成 29 年 3 月 28 日 (火)	岡山県高梁市	国指定重要文化財「備中松山城」周辺	国指定重要文化財「備中松山城」の管理状況について

<視察概要報告>

1. 岡山県総社市

●対応者： 総社市教育委員会 教育次長 服部 浩二様
〃 文化課主幹 平田 壮太郎様
〃 文化課 前角 和夫様

●場 所： 国指定史跡「鬼ノ城」周辺

●概 要：

「国指定史跡鬼ノ城の管理状況について」

鬼ノ城（きのじょう）は、岡山県総社市の鬼城山（きのじょうさん）に築かれた日本の古代山城（神籠石式山城）で、桃太郎伝説としても有名です。7 合目～8 合目に掛けて、約 2.8 k m にわたる城壁が取り巻き、城壁には 4 つの門と 6 つの水門が付設されています。その内部からは、建物や倉庫群・水場・のろし台、鍛冶工房などが発見されています。鬼ノ城は築造時期が不明な謎の城でしたが、最近の発掘調査の結果から、7 世紀後半に造られた可能性が高いということでした。城跡は、1986 年（昭和 61 年）3 月 25 日に指定された、国指定の史跡「鬼城山」に含まれています。本格的な整備は平成 12 年から 25 年にかけて 10 億 8000 万円かけて行われ、現在年間約 5 万 3000 人の来訪者があるそうです。（年間維持費は 900 万円で内人件費が 420 万円余、他は除草や看板修理などの維持管理費）

〈考察〉

整備された古代史跡は雄大なものでした。

年間の来訪者が 53,000 人程度でこれを超える来場者は望まないとのことでした。

管理が難しくなるとの理由のようですが、これだけ素晴らしい自然と歴史あふれるこの古代史跡をもっと大いに宣伝し、観光客を呼び込み、総社市のアピールにつなげていかればいいのではないかと思います。

しかし、入場料、入山料も無しで今後維持しようと思うとやはり、今の体制が望ましいのかもしれませんが。今後さらなる計画を策定中の事なので、多くの方たちに足を運んでいただける施設になることを願っています。

2. 岡山県高梁市

●対応者：	高梁市観光協会	常務理事	山田 敦様
	〃		井上 晴暁様
	高梁市教育委員会	社会教育課	樋口 英行様

●場 所：国指定重要文化財「備中松山城」周辺

●概 要：

「国宝備中松山城の管理状況について」

高梁市の市街地の北端にそびえ、「おしろやま」の愛称で市民に親しまれている、『臥牛山（標高約 480M）』。北から、「大松山」「天神の丸」「小松山」「前山」の四つの峰からなり、南から見た山容が、草の上に伏した老牛の姿に似ているとして、「老牛伏草山」とか「臥牛山」などと呼ばれており、備中松山城はその頂を中心に全域に及んでいます。

現在、一般に「備中松山城」と呼ばれるのは、この内の小松山の山頂（標高約四三〇M）を中心に築かれた近世城郭を指しており、天守の現存する山城としては随一の高さを誇ります。城内には天守、二重櫓、土堀の一部が現存しており、昭和 16 年には国宝(昭和 25 年文化財保護法の制定により 重要文化財)の指定を受けています。

また、平成 6 年度からはこれら重要文化財を中心に、本丸の復元整備が行われており、本丸の正面 玄関ともいえる本丸南御門をはじめ、東御門、腕木御門、路地門、五の平櫓、土堀などが忠実に基づいて復元されています。管理団体は高梁市で、施設の日常管理と観光客対応については高梁市観光協会に委託されています。維持管理費は年間約 1200 万円で、入城者数（入城料大人 300 円、小中学生 150 円）は、平成 28 年度は過去最高の 10 万人を更新したとのことでした。

〈考察〉

現存する山城としては日本最古のものであると伺った。

本来なら取り壊されていてもおかしくない城が、いろいろな歴史的な状況の中でそのまま残され、それを発見し、復元していこうと動き、尽力された方たちの執念にも似た深い思いを感じました。

今では「備中松山城」として、多くの人たちに愛されるようになり、平成 28 年度は過去最高の 10 万人を更新されたとのこと。テレビのロケ地ともなり、お城好きの方たちが一度は行ってみたいと思う城となりました。

また、高梁市内全体が歴史を感じる町並みで私はとても心が落ち着き、良い視察ができたと思っています。

安来市も、月山富田城整備がなされた後、どのように管理運営し、観光客を誘致していかれるのか。早急に取り組んでいかなければならないと思いました。



以上